

平成24年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実績期間
甲府・峡東	甲府市・笛吹市・山梨市・甲州市	平成19～23年度	平成19～23年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標		現 状(割合※1) (平成17年度)	目 標(割合※1) (平成24年度)A	実 績(割合※1) (平成24年度)B	実績B /目標A
排 出 量	事業系 総排出量	43,823トン	40,967トン (-6.5%)	38,929トン (-11.2%)	95.0%
	1事業所当たりの排出量	2.1トン/事業所	2.0トン/事業所 (-4.8%)	1.9トン/事業所 (-9.5%)	95.0%
	家庭系 総排出量	94,901トン	86,907トン (-8.4%)	85,739トン (-9.7%)	98.7%
	1人当たりの排出量	236kg/人	208kg/人 (-11.9%)	214kg/人 (-9.3%)	102.9%
	合 計 排出量合計	138,724トン	127,874トン (-7.8%)	124,668トン (-10.1%)	97.5%
再生利用量	直接資源化量	7,108トン (5.1%)	9,406トン (7.4%)	8,392トン (6.7%)	89.2%
	総資源化量	28,443トン (19.1%)	31,811トン (23.0%)	24,971トン (18.8%)	78.5%
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	16,708MWh	15,169MWh	16,519MWh	108.9%
減量化量	中間処理施設による減量化量	102,663トン (74.0%)	90,650トン (70.9%)	93,402トン (74.9%)	103.3%
最終処分量	埋立最終処分量	17,875トン (12.9%)	15,891トン (12.4%)	14,265トン (11.4%)	89.8%

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

(生活排水処理) 甲府市

指 標		現 状 (平成17年度)	目 標 (平成24年度)A	実 績 (平成24年度)B	実績B /目標A
総人口		199,361	194,649	195,020	-
下水道	汚水衛生処理人口	171,415	186,107	178,904	96.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	86.0%	95.6%	91.7%	95.9%
農業集落排水施設	汚水衛生処理人口	344	351	283	80.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.2%	0.2%	0.1%	50.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	12,336	5,581	6,416	115.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	6.2%	2.9%	3.3%	113.8%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	15,266	2,610	9,417	360.8%
し尿・汚泥の量		6,913kL/年	3,249kL/年	5,342kL/年	164.4%
汲取り尿		1,309kL/年	183kL/年	486kL/年	265.6%
浄化槽汚泥量		5,604kL/年	3,066kL/年	4,856kL/年	158.4%

(生活排水処理) 山梨市

指 標		現 状 (平成17年度)	目 標 (平成24年度)A	実 績 (平成24年度)B	実績B /目標A
総人口		39,167	37,226	37,298	-
下水道	汚水衛生処理人口	9,881	14,331	12,818	89.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	25.2%	38.5%	34.4%	89.4%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	7,082	5,598	5,357	95.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	18.1%	15.0%	14.4%	96.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	22,204	17,297	19,123	110.6%
し尿・汚泥の量		10,545kL/年	7,994kL/年	10,662kL/年	133.4%
汲取り尿		1,487kL/年	876kL/年	798kL/年	91.1%
浄化槽汚泥量		9,058kL/年	7,118kL/年	9,864kL/年	138.6%

2 施策の実施状況

施策種別	施策番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化及び指定ごみ袋制度導入の検討	山梨市の一部地域で有料指定ごみ袋制による有料化を実施している。その他の一部地域においては、指定ごみ袋制度が導入されているが、今後は有料化も含め、全地域での指定ごみ袋制度の導入を検討する。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	<p>【甲府市】 生活系一般廃棄物の排出抑制を図るため、平成21年10月から指定ごみ袋制度を導入した。</p> <p>【笛吹市】 現在、東山梨ごみ処理組合にて処理を行っている旧春日居町については指定ごみ袋制となっている。市内全域の導入については今後検討を行なっていく。</p> <p>【山梨市】 H19年に未導入であった地域に指定ごみ袋制度を導入し、市内全地域で指定ごみ袋による有料化を実施。</p> <p>【甲州市】 塩山地区・勝沼地区・大和地区全て指定ごみ袋制度導入済み。</p>
	12	環境教育、普及啓発、助成の推進	減量化の普及啓発、生ごみ堆肥化容器等の助成制度、観光ごみへの対応等を推進する。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	<p>【甲府市】 身近な環境問題や地球環境問題に関する内容の副読本を作成し、市内の小学4年生全員に配布し、市の施設にも配置した。また、指導業務専門職員による「ごみ減らし隊」を編成し、団体や市民からの要望を受け、講演や小学校総合学習での指導を行なっている。</p> <p>【笛吹市】 減量化の普及啓発・再資源化促進のために、各地区でのごみ分別説明会・市内大型小売店舗店頭での分別キャンペーンを継続して開催しているほか、家庭用生ごみ処理器の購入助成制度、ダンボールを使った生ごみ堆肥化モニター募集により、可燃ごみ組成の大部分を占める生ごみの減量・再資源化推進を図っている。</p> <p>【山梨市】 H23年度ごみ減量化モデル事業によるごみ減量化の普及啓発を実施。生ごみ処理機・処理容器購入に対する助成・観光地美化清掃の実施。</p> <p>【甲州市】 5月30日・7月30日・9月30日に大手スーパーにてイベントとして減量化等の啓発運動実施。生ごみ堆肥化容器等の助成制度導入済み。</p>
	13	容器包装リサイクルの分別収集の検討	甲府市のその他のブラの分別収集を検討する。また、ミックスペーパーの分別啓発を推進する。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	<p>【甲府市】 紙パック・ペットボトル・食品用白色トレイの回収を行なっている。容器包装プラスチックの回収については、審議会の答申を踏まえて平成27年度に実施する。</p> <p>【笛吹市】 分別啓発のために各地区でのごみ分別説明会・店頭キャンペーンの開催を継続。収集箇所・収集回数を増やすなど、市民が持ち出し易い環境の整備を図った。</p> <p>【山梨市】 H19年度に市内全地区へのリサイクルステーションの設置が完了し、H20年度から市内全域で容器包装リサイクル品を含めた資源物の回収を実施。</p> <p>【甲州市】 ミックスペーパー分別啓発実施推進済み(平成21年より毎年5月30日・7月30日・9月30日に大手スーパーイベントにて実施)</p>
	14	廃樹木等のリサイクルの推進	廃樹木のチップ化、廃蛍光管・電池の資源化、廃食油の自主回収、生ごみのモデル地区での分別収集等を推進する。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	<p>【甲府市】 市内公民館等で廃食油の回収を行なっている。廃樹木は、ボイラー燃料・堆肥・合板原材料に、廃蛍光管・電池は再資源化に取り組んでいる。</p> <p>【笛吹市】 廃樹木・廃蛍光管・電池ともに、再資源化を行う事業所に処理を委託している。生活系の廃食油については、特別収集(年数回)や市民の直接持ち込み(随時)により回収している。市内に再資源化プラントを設置しBDF化しており、ごみ収集車の燃料等として再利用を図っている。</p> <p>【山梨市】 廃樹木のチップ化を実施。リサイクルステーションでの廃食油の回収を実施。</p> <p>【甲州市】 廃蛍光管の資源化実施済み、廃食油の自主回収実施済み。廃樹木のチップ化、電池の資源化、生ごみのモデル地区での分別収集等の推進は行なわなかった。</p>
	15	直接搬入ごみ処理手数料の見直しの検討	必要によって、各市で設定している直接搬入ごみ処理手数料の見直しを検討する。	甲府市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	<p>【甲府市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。</p> <p>【山梨市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。</p> <p>【甲州市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。</p>
16	生活雑排水対策に関する普及啓発	水切袋の使用等、生活雑排水対策に関する普及啓発を行う。	甲府市、山梨市	H19年度～H23年度	<p>【甲府市】 平成19～23年度において、計 14,589件のチラシ及び啓発品の配布を行い、生活排水対策に関する普及啓発を行った。</p> <p>【山梨市】 浄化槽の適正な維持管理の指導等を実施。</p>	

施策種別	施策番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	17	浄化槽の適正な維持管理の指導	浄化槽の維持管理について、保守点検等の維持管理を適正に実施するよう指導する。	甲府市、山梨市	H19年度～H23年度	【甲府市】 平成19～23年度において、計 2,225件の浄化槽立入調査を行い、維持管理の適正実施について指導を行った。 【山梨市】 山梨県と連携を取りながら、保守点検、清掃、法定検査等適正な維持管理の指導を実施。
	18	単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換促進	合併処理浄化槽の普及及び単独浄化槽の合併処理への転換を促進する。	甲府市、山梨市	H19年度～H23年度	【甲府市】 平成19～23年度において、広報誌・ホームページの利用、チラシ及び啓発品の配布などを行い、合併処理浄化槽の普及及び単独槽からの合併転換促進を図った。 【山梨市】 下水道計画エリア外の合併浄化槽設置費を助成し、合併浄化槽への転換を促進した。
	19	乾燥汚泥の農地還元等の普及促進	甲府市衛生センターから排出される乾燥汚泥については、一部を農地還元しているが、更なる普及促進を図る。	甲府市	H19年度～H23年度	【甲府市】 農家に直接連絡し、乾燥汚泥を利用してもらえるよう普及促進を図った。
処理体制の構築、変更に関するもの	21	処理体制の構築及び排出・収集方法等の検討	処理の一元化にあたっての行政間での処理体制の構築及び各市の排出形態、収集回数等を検討する。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	【甲府市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。 【笛吹市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。 【山梨市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。 新施設の稼働に合わせて排出形態及び収集回数の見直しを行なう。 【甲州市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。
	22	資源物の有効利用	施設から発生するスラグ、その他の再生資源物の有効利用を検討する。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	【甲府市】 現有施設はスラグが発生しない。その他の再生資源物の有効利用は実施している。新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討していく。 【笛吹市】 再生資源物の有効利用は実施している。新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討していく。 【山梨市】 現有施設はスラグが発生しない。その他の再生資源物の有効利用は実施している。新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討していく。 【甲州市】 現有施設はスラグが発生しない。その他の再生資源物の有効利用は実施している。新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討していく。
処理施設の整備に関するもの	1	リサイクルセンター整備	リサイクルセンターを整備し、再生資源物の有効利用を推進する。	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合	H22年度～H26年度	【甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合】 環境影響評価に係る猛禽類の調査にて調査期間の延長を余儀なくされたため、全体スケジュールを変更し、平成24年度から平成28年度の循環型社会形成推進地域計画【2次】を新たに計画した。
	2	熱回収施設整備	熱回収施設を整備し、ごみの衛生処理を図る。	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合	H23年度～H26年度	【甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合】 環境影響評価に係る猛禽類の調査にて調査期間の延長を余儀なくされたため、全体スケジュールを変更し、平成24年度から平成28年度の循環型社会形成推進地域計画【2次】を新たに計画した。
	3	浄化槽整備		甲府市	H19年度～H23年度	【甲府市】 平成19～23年度において、浄化槽整備事業により、計 263基の浄化槽設置補助を行った。
	4	浄化槽市町村整備	合併処理浄化槽を整備し、衛生的な循環水処理システムを推進する。	甲府市	H23年度～H27年度	【甲府市】 H23年度新規設置実績 5人槽 15基 7人槽 9基 合計24基
	5	浄化槽整備		山梨市	H19年度～H23年度	【山梨市】 下水道計画エリア外の合併浄化槽設置費を助成し、合併浄化槽の整備促進を行なった。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1に係る環境影響評価	建設予定地を対象とし、環境影響評価を行う。具体的には、現地実測調査、準備書、評価書の作成等を行う。	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合	H19年度～H21年度	【甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合】 環境影響評価に係る猛禽類の調査にて調査期間の延長を余儀なくされたため、全体スケジュールを変更し、平成24年度から平成28年度の循環型社会形成推進地域計画【2次】を新たに計画した。
		1に係る施設基本計画、発注仕様書等の作成	建設予定地の測量・地質調査、及び施設基本計画、発注仕様書等の作成を行う。		H19年度～H22年度	【甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合】 建設予定地の測量・地質調査及び施設基本計画、発注仕様書等の作成については実施済み。
	32	2に係る環境影響評価	建設予定地を対象とし、環境影響評価を行う。具体的には、現地実測調査、準備書、評価書の作成等を行う。	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合	H19年度～H21年度	【甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合】 環境影響評価に係る猛禽類の調査にて調査期間の延長を余儀なくされたため、全体スケジュールを変更し、平成24年度から平成28年度の循環型社会形成推進地域計画【2次】を新たに計画した。
		2に係る施設基本計画、発注仕様書等の作成	建設予定地の測量・地質調査、及び施設基本計画、発注仕様書等の作成を行う。		H19年度～H22年度	【甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合】 建設予定地の測量・地質調査及び施設基本計画、発注仕様書等の作成については実施済み。

施策種別	施策番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業実施期間(事業計画期間)	施策の実績
廃棄物処理施設における長寿命化計画策定支援に関するもの	41	施設長寿命化計画策定	山梨市環境センター(し尿処理場)に係る長寿命化計画の策定を行う。	山梨市	H22年度～H23年度	【山梨市】 長寿命化計画を策定済み。
その他	51	再生利用品の需要拡大事業	施設から発生するスラグの利用を促進する。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	【甲府市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。
						【笛吹市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。
						【山梨市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。
						【甲州市】 新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づき、新施設の稼働に向けて構成4市環境担当課長会議にて継続して検討を行なっている。
52	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発を行う。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H21年度	【甲府市】 ホームページによる広報などを行なっている。	
					【笛吹市】 広報記事の掲載、地区での分別説明会により普及・啓発を図っている。年2回特別収集(有料)を実施。	
					【山梨市】 ごみカレンダー等で啓発を行なっている。	
					【甲州市】 市冊子家庭用ごみのガイドブックに掲載。平成22年より毎年5月30日・7月30日・9月30日に大手スーパーにてイベントとして普及啓発を行った。	
53	不法投棄対策	不法投棄の情報提供・早期発見、意識啓発を行う。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	【甲府市】 パトロールによる監視や市民からの情報等により発見された廃棄物の撤去処理や不法投棄禁止看板の設置などを行なっている。	
					【笛吹市】 峡東林務環境事務所とも連携しつつ、随時パトロールを行ない、監視と発見を図っている。定期的に広報にて禁止の呼びかけを行なっている。	
					【山梨市】 不法投棄パトロールの実施。 不法投棄防止看板の設置。	
					【甲州市】 保健環境委員に情報依頼・環境課臨時職員による巡回・不法投棄の看板設置などを実施。	
54	災害時の廃棄物処理	災害時に発生する廃棄物について、関係市で協力体制を構築する。	甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市	H19年度～H23年度	【甲府市】 甲府市地域防災計画において「大規模災害等発生等における相互応援に関する協定書」を山梨県市長会(12市)で締結しているが、関係4市のみでの協定等の締結はない。	
					【笛吹市】 地域防災計画において県、他市町村に応援を要請して速やかに収集・処理を行なうとされているが、現在具体的な廃棄物処理についての協定は締結されていない。	
					【山梨市】 山梨市地域防災計画及び災害廃棄物処理基本計画に基づき協力体制を検討している。	
					【甲州市】 災害時の被害が甚大で市では処理が困難な場合には、県(峡東林務環境事務所)あるいは、近隣市町村に協力を依頼し処理する。	

3 目標の達成状況に関する評価

<p>【ごみ処理】</p> <p>排出量については、基準年度(平成17年度)と比較し、事業系ごみで約11%、家庭系ごみでは約10%の減となり、目標年度である平成24年度の目標を達成する結果となった。しかし、家庭系ごみの1人当たりの排出量については、平成24年度の目標208kg/人に対して実績214kg/人と僅かに上回る結果となった。また、再生利用量は目標に達していないものの、熱回収量、減量化量、最終処分量は目標を達成できた。</p> <p>再生利用量が目標に達しなかった要因として、平成24年度は資源ごみの排出量が予測より少なかったことに加え、中間処理における減量化率が高く、処理後に再生利用する処理残量が少なかったことが挙げられる。</p> <p>平成23年度には、国の廃棄物処理基本方針、山梨県廃棄物総合計画に基づく新たな指標により、循環型社会形成推進地域計画【第2次】を策定し、大臣承認された。</p> <p>今後、新施設の建設に向け、発生抑制と再生利用の向上及び最終処分量の減量等の目標を達成するため、新たに策定した循環型社会形成推進地域計画【2次】に基づく施策を確実に実施し、構成4市環境担当課長会議等にてその実施状況等についても確認していく。</p> <p>【生活排水処理】</p> <p>【甲府市】</p> <p>浄化槽整備(個人設置型)については、平成22年度に変更した計画で平成19～23年度の設置基数を270基としたところ、震災の影響等による平成23年度交付金の減額の影響で実績は263基となったが、概ね計画どおりの整備ができた。</p> <p>浄化槽市町村整備については、事業初年度にあたる平成23年度当初、東日本大震災の影響による内示額の見直しが行われることとなったため、循環型社会形成推進地域計画基数の40基から30基へ設置目標基数を変更し、整備事業を開始したところであるが、年度途中で設置申請者による申請取消等の外的要因が発生し、設置目標基数から更に6基減少し、当該地域計画における設置実績基数は24基となった。</p> <p>汚水衛生処理人口やし尿・汚泥の量については、財政的な理由で下水道の整備計画が縮小方向に見直されたことにより普及率が予想と比べて伸びず、し尿・汚泥の量もそれに比例したことで、単独浄化槽から合併浄化槽への転換が進まなかったこと等により、目標を達成することはできなかったものの、毎年改善されてきている(農業集落排水施設の普及率の低下は、地域人口の減少によるものである)。</p> <p>これらのことを踏まえ、今後も引き続き第2期の計画に基づいて効率的に事業を進め、更なる公共用水域の水質や市民の生活環境の改善に努める必要がある。</p> <p>【山梨市】</p> <p>公共下水道の汚水衛生処理人口と汚水衛生処理率の目標値を達成できず、合併処理浄化槽の整備も計画通りに進まなかった結果、汚水衛生未処理人口やし尿・汚泥の量、浄化槽汚泥量についても目標を下回った。</p> <p>この要因として、下水道については、下水道整備事業費の削減や下水道への未加入世帯の影響が考えられる。また、合併処理浄化槽については、経済情勢が変化中、新築住宅の減少や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換にかかる個人の費用負担が影響し、整備が予想通りに進まなかったためと考えられる。</p> <p>今後は、下水道の計画的な整備を進め、さらなる啓発活動により、下水道の未加入世帯の加入推進や汲み取り処理・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進し、生活排水処理の改善を進めていく。</p>

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

排出量については、事業系は目標を上回る実績となっている。家庭系について、人口の減少に伴い1人当たりの排出量が目標を下回る実績となっているが、総排出量においては目標を上回る実績となっており、排出量全体では、目標を上回る実績となっている。

再生利用量については、目標値及び排出量に対する割合が共に目標を達成していないが、ごみの発生抑制等による総排出量減少の影響など、施策の効果が現われている。

熱回収量、減量化量、最終処分量については、それぞれ目標を上回る実績となっている。

地域計画で定めた目標について、数値的には達成できない部分もあるが、施策による効果がみられると評価できる。

継続して策定した第2次地域計画における、循環型社会の形成に向けた取り組みにより、効果を発揮することが期待できる。

【生活排水処理(甲府市、山梨市)】

合併処理浄化槽等については、甲府市では目標を達成しており、山梨市では目標を下回っているが、浄化槽全体では目標を達成している。

一方、下水道については、両市ともに目標を下回っており、生活排水全体でも目標を下回る結果となっている。

この要因としては、国交付金の減少等により下水道の面的整備の遅れの影響が考えられるが、今後、継続して策定した第2次地域計画や、市がそれぞれ策定した生活排水処理計画における、循環型社会の形成に向けた取り組みを確実に実施することにより、効果を発揮することが期待できる。